学校番号	105

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　要説世界史　（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説　タペストリー　十九訂版　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史は暗記科目ではない。
一人前の大人なら「知っていて当然」の「教養」の集大成である。わかりやすくいうなら、「テレビのクイズ番組に出て恥をかかない程度の知識」である。
定期考査が終われば忘れたようにみえる事件や人名でも、実はあなたの脳のメモリのどこかに残っている。このメモリの情報量が、「教養」の厚みを決める。
脳のメモリの情報量を、一番効率よく増やせるこの時期に増やしておこうじゃないか。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結びつけ歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図や表にまとめている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 主題学習	定期考査 ワークシート 主題学習 レポート	定期考査 ワークシート 主題学習 レポート	定期考査 ワークシート 主題学習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代文明の形成	・人類の出現し ・道具と文化 ・定住生活と初期の農耕文明	○	 ○ ○	○ ○	 ○	a:歴史の舞台としての自然環境、日本史と世界史のつながりについて関心を持ち、意欲的に追究している。 b:設定された主題について多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題についての諸資料から有用な情報を読み取り、年表や図にまとめるなど、世界史学習の基本的技能を身につけている。 d:自然環境と人間の活動や、日本史と世界史が関連していることを理解している。	定期考査 ワークシート
	諸地域世界の形成と交流	・文明のはじまり ・東世界・内陸アジア世界 ・南アジア世界・東南アジア世界 ・西アジア世界 ・ヨーロッパ世界	○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:諸地域の文明の形成と特質について関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸地域の諸文明の特質について、今日の世界諸地域の社会・文化と関連付けて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:ユーラシア諸地域の諸文明の形成と展開について、図像資料・地図・年表等から有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d:ユーラシア諸地域に形成された文明の特質についての基本的な事項を、今日の世界諸地域の社会・文化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート(年表作成など)

		・諸文明を結ぶネットワーク （陸のネットワーク、海のネットワーク）	○		○	○	a：８世紀以降のユーラシアの海・陸の諸ルートによる地域間交流がのちの世界の一体化の前提となったことへの関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：８世紀以降のユーラシアの海・陸の交流の特質を見出し、これを支えた都市や港のネットワークを、地域世界の文化の相互的な影響と変容などと関連付けて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：８世紀以降のユーラシア諸地域の交流に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d：８世紀以降のユーラシアの海・陸の交流についての基本的事項を、地域世界相互の文化変容と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
	結びつく世界	・アジアの諸帝国 （明清帝国、ティムール帝国、ムガル帝国、オスマン帝国）		○	○	○ ○	a：アジア諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開に対する関心を高め、意欲的に追及しようとしている。 b：アジア諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開の特質について、ヨーロッパ諸国の進出と関連付けて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：アジア諸帝国、大西洋貿易に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d：アジア諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開についての基本的な事項を、これらの地域へのヨーロッパ諸国の進出と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート（地図作成）

		・近世ヨーロッパの形成と発展（大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家の形成、ヨーロッパの世界政策）	○	○	○		a：大航海時代におけるヨーロッパ人の海外進出、ルネサンス・宗教改革という精神的変革、主権国家体制の成立という政治的変容への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：大航海時代における海外進出、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパ主権国家体制の成立に、近代へと向かう特質を見出し、世界商業の進展などと関連付けて、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：大航海時代、ルネサンスと宗教改革、主権国家体制成立に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、を図表などにまとめている。 d：大航海時代の海外への動き、ルネサンスや宗教改革の特質、ヨーロッパ主権国家体制の成立過程に関する基本的な事項を、世界商業の進展などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート（年表作成など）

2学期	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	・革命の時代の到来 （産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命） ・自由主義と国民主義の進展 （市民社会の成立、アメリカ大陸の動向、19 世紀の欧米文化）	○ ○	 ○	○	○	a：18 世紀以降の西欧とアメリカの諸革命と産業社会の成立に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：18 世紀以降の西欧とアメリカの諸革命と産業社会の成立、それがもたらした変化について、その特質を見出し、19 世紀の世界の一体化の中でこれを多角的・多面的に考察、その過程や結果を適切に表現している。 c：18 世紀以降の西欧とアメリカの諸革命に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d：18 世紀以降の西欧とアメリカの諸革命と産業社会の成立、およびそれがもたらした変化を系統的に、且つ世界の一体化の大きな流れの中で理解している。	定期考査 ワークシート レポート（年表作成）

	アジア諸国の変貌	・オスマン帝国の動揺と民族の自覚 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの変貌と日本の動向					a:18 世紀以降のアジア諸国の内部で進行した変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：18 世紀以降のアジア諸国内部で進行した変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌の特質を見出し、19 世紀の世界の一体化の中で多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 18 世紀以降アジア諸国内部で進行した変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し読み取り、図表などにまとめている。 d: アジア諸国内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌の概要を系統的に、且つ世界の一体化の大きな流れの中で理解している。	

	世界戦争と平和	・帝国主義の成立と列強の情勢 ・世界分割とアジア・アフリカ（列強による世界分割、諸民族の抵抗） ・二つの世界大戦とその影響	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:19 世紀末に始まる帝国主義時代の欧米諸国や日本の社会の急激な変化と 20 世紀という時代の特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。また、両大戦の原因や総力戦の構造と特色、戦争のもたらした影響と平和の意義に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:20 世紀という時代に 19 世紀までは性格の異なる人類史的特質を見出し、社会の急激な変化の具体的様相と関連付けて、多角的・多面的に降雪し、その糧や欠課を適切に表現している。また両大戦の原因や総力戦の構造と特色について、それらがもたらした影響と平和の意義に関連付けて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の人類史的特質、および両大戦に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d:20 世紀という時代の特質についての基本的な事項を、帝国主義時代の社会の急激な変化の具体的様相と関連付けて理解し、その知識を身につけている。また、両大戦の原因やその特質についての基本的な事柄を、大戦の影響と平和の意義と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート（年表作成）

3学期	三つの世界の形成	・冷戦期の世界と日本 （東西両陣営の形成、ヨーロッパと日本の復興） ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題 ・米ソ両大国の動揺	○ ○	 ○	○ ○ ○	○ ○	a：第二次大戦後の冷戦構造、アジア・アフリカの民族運動と独立、核兵器問題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：第二次大戦後の冷戦構造、アジア・アフリカの民族運動と独立、核兵器問題などの特質を、世界の政治・経済の動向と関連付けて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：冷戦、アジア・アフリカの民族運動と独立、核兵器問題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d：冷戦構造、アジア・アフリカの民族運動と独立、核兵器問題についての基本的事項を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート（年表作成など）

	グローバル化する世界	・大国の動揺と国際経済の危機 ・社会主義の後退と冷戦の終結 ・グローバル化と多極化 ・地球社会への歩み （貧困の解消、平和の希求、科学技術のあり方）	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:西ヨーロッパの地域統合の動き、冷戦終結後の社会主義陣営の崩壊と世界諸地域の動向、各地の民族紛争や宗教紛争など現代の国際社会の諸問題への関心を高め、意欲的に追及しようとしている。 b: 西ヨーロッパの地域統合の動き、冷戦終結後の社会主義陣営の崩壊と世界諸地域の動向、各地の民族紛争や宗教紛争などを、現代の国際社会の諸問題と関連付けて多角的･多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:冷戦終結前後の世界諸地域の動向や各地の紛争に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d:西ヨーロッパの地域統合、冷戦終結前後の世界諸地域の動向や各地の紛争などについて、現代の国際社会の諸問題と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査

	持続可能な世界をめざして	・巨大技術と人間 ・人が人らしく生きるために ・環境問題と私たち ・なお続く紛争 ※パレスティナ紛争等紛争事例の学習	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○	 ○	a:冷戦終結後の世界各地の地域紛争の原因と背景、科学技術の人類への寄与と課題、環境問題、世界の平和と安全に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 冷戦終結後の世界各地の地域紛争の原因と背景、科学技術の人類への寄与と課題などについて、人類の生存と環境、世界の平和と安全などの問題と関連付けて、多角的多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:冷戦終結後の地域紛争や科学技術の発展と課題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d: 冷戦終結後の世界各地の地域紛争の原因と背景、科学技術の人類への寄与と課題などについての基本的事項を、人類の生存と環境、世界の平和と安全などの問題と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート(主題学習)

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。